

卒業研究(Graduation Thesis)

担当教員名	M全	
学科・専攻, 科目詳細	機械工学科 5年 通年 6単位 演習	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 演習系	
学習・教育目標	共生システム工学	D-3(20%) E-1(20%) G-2(60%)
	JABEE基準1(1)	(d)(f)(g)
科目の概要	これまでに学んだ工学知識を総合化し、各自が選んだ個別の研究課題に応用し、問題解決にあたる実践的能力を養う。また、工学研究の手法についても実践的に学ぶ。研究課題には演習問題のように初めから答えが用意されているわけではない。自ら試行錯誤を繰り返しながら未知の領域を研究する楽しさを学んでほしい。	
テキスト(参考文献)	指導教員が必要資料を配布する。	
履修上の注意	本科目は実験、解析や論文作成等に必要な標準的な自己学習時間の総数が270時間に相当する学習内容である。 自らが選択した研究課題に自主的・積極的に取り組み、継続的に問題解決を図ろうとする姿勢が大切である。	
科目の達成目標	(1) 自主的・継続的に学習する能力。(学習・教育目標 D-3) (2) 学んだ工学知識を研究課題に応用し、問題解決にあたる実践的能力。(学習・教育目標 G-2) (3) 研究課題に関連した既存技術や新たな技術について討論できる能力。(学習・教育目標 E-1) (4) 研究成果を他者に説明できる能力。(学習・教育目標 E-1)	
自己学習	目標を達成するには各自で実験、解析を実施し、課題に関して深く調べる必要がある。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/5以上の欠課
	研究活動(40%)、研究論文(30%)、審査発表会でのプレゼンテーション(30%)を総合して評価する。 総合して60%以上を合格とする。 (1)研究活動の評価(研究の理解度、取組状況、達成度、創意工夫)は、「卒業研究の記録」の記載状況・研究への取り組み状況を指導教員が総合的に評価する。 (2)研究論文の評価(論文の整合性、文章表現方法、図や式のまとめ具合)は、指導教員が行う。 (3)審査発表会でのプレゼンテーションの評価(発表態度、図面の表現、発表時間、内容の整合性、質疑応答の的確さ、概要論文)は、機械工学科全教員が行う。	
連絡先	n-matsu@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	受講ガイダンス 各指導教員の下で、個別に説明・指示する。
第2週	個別・グループ研究 各指導教員の下で実施する。
第3週	同上 同上
第4週	同上 同上
第5週	同上 同上
第6週	同上 同上
第7週	同上 同上
第8週	同上 同上
第9週	同上 同上
第10週	同上 同上
第11週	同上 同上
第12週	同上 同上
第13週	同上 同上
第14週	同上 同上
第15週	同上 同上
期末試験実施せず	

授業の計画・内容	
第16週	同上 同上
第17週	同上 同上
第18週	同上 同上
第19週	同上 同上
第20週	同上 同上
第21週	同上 同上
第22週	同上 同上
第23週	同上 同上
第24週	同上 同上
第25週	同上 同上
第26週	同上 同上
第27週	同上 同上
第28週	論文提出 グループごとに論文を提出する。
第29週	論文審査 グループごとに論文審査を受ける。
第30週	卒業研究審査発表会 グループごとに発表し、個別に試問を受ける。
期末試験実施せず	